石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻川開き祭り

学生ら250人が参加 地域活性化に貢献

石巻市の夏の風物詩「石巻川開き祭り」が、8月2日から4日まで開かれた。期間中は市内各地でさまざまな行事が行われ、本学からも学生や教職員延べ250人が参加。笑顔で祭りを盛り上げ、地域の活性化に貢献した。

【大漁踊り】尾池学長（前列右）らを先頭に市内を練り歩く学生たち

【流燈】学生も製作した2000個の流燈が北上川に浮かぶ

水上のメインイベント「孫兵衛船競漕」には今年度創設されたサッカー部、王座奪還を目指す「縄張神社奉納大縄引き大会」には硬式野球部を中心としたメンバーで臨んだ。どちらも優勝こそ逃したものの大健闘を見せ、会場を大きく沸かせた。全力を尽くした学生たちの表情には充実感があふれていた。

今年は、湊地区にある一皇子宮の神輿に初参加。大学カラーの法被を着た学生たちは炎天下のなか、市民に交じって神輿を担いだ。また、祭りのフィナーレを飾る大漁踊りでは、そろいの甚平や浴衣姿の学生たちが、大勢の観客に見守られながら市内を練り歩いた。列が進むにつれて緊張もほぐれ、最後は掛け声とともに笑顔でゴールした。

また、ボランティア活動にも取り組んだ。水難者に対する供養として北上川に流す「流燈」づくりには学生・教職員約50人が協力。他団体のボランティアとともに、手作業で2000個を完成させた。

花火大会翌日の4日早朝には、観覧席や打ち上げ場所周辺で花火くずなどのごみ拾いに汗を流した。

そろいの法被姿で地域の方とともに神輿を担いだ

早朝から花火くずなどのゴミを拾った

石巻専修大学
広報係
〒986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

最新の情報は大学HPで。

ダイナミックに龍が舞う「龍踊り」

学生有志「龍神まつり」に参加

石巻市の離島・金華山にある黄金山神社の伝統行事「龍神まつり」が7月28日に行われ、メイン行事「龍踊り」で学生5人が担ぎ手を務めた。

担ぎ手が減少するなか、学生有志が協力。練習を重ね、本番では全長20㍍、重さ100㌔にも及ぶ龍体をダイナミックに操り、海上安全や五穀豊穣を願った。大沼雅士さん（人間3・山形県創学館高）は、「息を合わせて力強い踊りをすることができた」と話した。

理工・生物科学科

潜水調査実習

海洋生物を間近で観察

理工学部生物科学科の「潜水調査実習」が9月4日に石巻市の海で行われた。事前の座学とプール実習によってスキューバダイビングの基礎的スキルを学んだ3年次生6人が、玉置仁教授、太田尚志教授らの指導を受けながら海に潜り、海洋生物に対する理解を深めた。

実習は、潜水調査会社のフクダ海洋企画（石巻市）の協力のもと実施された。学生らは注意事項などの説明を受けた後、設置された調査ラインに沿って活動した。

実習に参加した学生たち

水中カメラで生物の様子を撮影

海中ではメバルやイカの赤ちゃんなど、さまざまな海洋生物と、その生息環境を確認することができた。また、観察された生物の姿を水中カメラで記録。今後は、その種名や生物学的特徴をレポートにまとめ、授業で学んだ知識とフィールドワークの体験を有機的に結び付けていく。

板野陽菜さん（山形県寒河江高）は「プールとは違い、海流で体勢を整えるのに苦労した。泳ぐ魚たちを間近に見ることで改めて、海の面白さを実感できた。石巻以外の海にも潜ってみたい」と笑顔を見せた。

24年度科研費

2件が新規採択

2024年度の科学研究費助成事業（科研費）に、石巻専修大学から2件が新規採択された（下表参照）。継続分と合わせた採択数は15件となった。

研究種目	氏名	所属・職名	研究課題名
基盤研究（C）	玉置　仁	理工学部教授	磯焼けや気候変動といった撹乱が藻場生態系の物質フローに及ぼす影響の解明
	永山　貴洋	人間学部准教授	わざ言語を利用した小学校体育授業における運動指導モデルの構築

交換留学生帰国報告会

留学生活を日本語で発表

中国からの交換留学生が8月の帰国を前に、大学や石巻で学んだことなどを発表する「帰国報告会」が7月19日、石巻市防災センターで開かれた。国際交流協定校の東北電力大学（吉林省）と温州大学（浙江省）からの交換留学生7人は自作のスライドを交えて、留学生活中の学びや思い出、石巻市のお気に入りポイントなどを日本語でプレゼンした＝写真。

7人は昨年9月に来日。人間学部人間文化学科に所属し、ピアサポーター（サポート役の日本人学生）との交流やさまざまな課外活動を通じて、日本に対する理解を深めてきた。

報告会で、韓越さんは日本に来て初めて地震を経験したと述べ、昨年12月に訪れたみやぎ東日本大震災津波伝承館での防災学習の意義を語った。

休みを利用して日本各地を巡った潘克豪さんは、豊富な写真とともに旅の思い出を披露。朱悦さんは1年間の留学生活を振り返り、「たくさんの素晴らしい思い出ができ、多くの人々と絆が生まれた」と結んだ。

女子競走部

2大会で健闘

10月の第42回全日本大学女子駅伝対校選手権大会（杜の都駅伝）出場を目指す女子競走部が、今夏の各大会で健闘をみせた。

第79回宮城県陸上競技選手権大会（7月5～7日、仙台市）では、5000㍍でムワンギ・エスターさん（経営1・島根県益田東高）が16分33秒08で優勝。寺嶋悠葉さん（経営3・山形県九里学園高）が5位に入るなど上位8人に4人が名を連ねた。

エスターさんは、続く第46回北日本学生陸上競技対校選手権大会（8月12～14日、石川県金沢市）でも5000㍍で2位と好走。1万㍍で小野寺美麗さん（経営2・山形県東北文教大学山形城北高）が4位となったほか、寺嶋さんが自慢のスピードを生かし、800㍍と1500㍍でともに6位に入賞した。

9月29日（日）には、杜の都駅伝の東北地区選考会（宮城県名取市）が控えている。2021年以来の本選出場に向け、選手たちは調整に励んでいる。

杜の都駅伝 9/29に東北地区選考会

2024石鳳祭
10/12（土）13（日）
11:00～18:00
メインテーマ　旋風
お笑いライブ、音楽ライブ（共に入場無料）、ゼミナールなどによる模擬店や地場産品の販売を予定。
石鳳祭実行委員会HP
ミニ・オープンキャンパスも開催